

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

プレコンgresワークショップ 14	
企画名	オーストラリアの Rural GP との交流を持とう (内容は全て日本語で行われます)
日時	2016年6月10日(金) 17:10～18:40
会場	第8会場 (台東区民会館 8階 第2会議室)
企画責任者	齋藤学 (ゲネプロ)
定員	72名
開催の目的・概要	
【開催の目的】 オーストラリアのへき地医療 Rural Medicine について知る	
【概要】 オーストラリアのへき地専門医 ‘Rural Generalist’ がついにベールを脱ぎます。‘Rural Generalist’ とは、GP(General Practitioner)として診療所で働きながら、緊急の分娩に対応したり、全身麻酔をかけたり、外科手術をしたり、ある時はフライング・ドクターとして患者搬送を行ったりと、オーストラリアのへき地で戦う GP のことを称します。バックグラウンドは総合医、救急医、外科医、産婦人科医など様々ですが、10年前より本格的な研修プログラムとして確立され、いまや競争率の高い、ブランド化されたプログラムとなっています。広大なへき地を抱えるオーストラリアにおいて、へき地の医師不足を解消するために、学会 (RACGP および ACRRM) が魅力的かつ、へき地でも戦えるスキルを身につけるための研修プログラムを試行錯誤の上に構築しました。プログラムがスタートし10周年を迎えた今、このへき地医療プログラムは研修医からも絶大な人気を得ており、Rural Generalist はオーストラリアの中でも、何でも対応できる医師として憧れの存在となっています。今回、オーストラリアの Rural GP として勤務している Jun Parker 医師を招き、オーストラリアのへき地医療の概要や、へき地専門医プログラムの紹介、そして研修中の体験談などを含めお話しして頂き、参加者の皆さんとの質疑応答や意見交換を企画しています。	